

松崎たかひろ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

千葉県では、令和3年度から千葉県小児・AYA

がん患者に

妊孕性温存療法の実施支援を



6月県議会一般質問に登壇した松崎議員

松崎議員が、がんの治療により、卵巣・精巣等の機能に影響を及ぼし、生殖機能が低下・喪失する恐れがあることは、若いがん患者にとって大変深刻な問題である。

世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業を開始し、卵子や精子の採取・凍結保存などを行う妊孕性温存療法に要する費用の一部について助成を行っている。また、令和4年からは生殖補助医療についても助成の対象となり制度が拡充された。

保健医療担当部長 卵子・精子の採取・保存等を行う妊孕性温存療法は、抗がん剤等の治療の前に実施する必要がありますが、患者さんやご家族が適切な時期に意

松崎議員 柏市は平成17年3月に沼南町と合併し、平成20年4月には県内2番目の中核市として市内の人口は増え続け、さらなる発展が続いている。

松崎議員 柏警察署における今後の警察力の強化に向けた方針はどうか。警察本部長 柏警察署については、管内の刑法犯認知件数、交通事故発生件数、110番受理件数が、県内最多であり、業務多忙な警察署であることから、引き続き、警察官の配置の見直し、移動交番車の機動的・効率的な運用のほか、機動捜査隊、交通機動隊、自動車警ら隊等の県本部執行隊による応援などにより、治安維持に万全を期してまいります。

6月県議会一般質問

「二斉照会システム」導入でハイリスク妊産婦の受入体制強化を要望

柏市選出の松崎たかひろ県議は、6月定例議会の一般質問に登壇し、コロナウイルスに感染したハイリスク妊産婦の受入調整問題や警察力の強化、地域の活性化につながる生涯大学校についてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をたずねました。その概要をお伝えします。

松崎議員 本年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、世の中は元の様子に戻ってきているように思うが、一部報道では感染者が増加している。

柏市では令和3年8月に、新型コロナウイルスに感染した妊婦が受入先が決まらず、早産の末、新生児が死亡するという大変痛ましい事案が発生した。

松崎議員 柏市は平成17年3月に沼南町と合併し、平成20年4月には県内2番目の中核市として市内の人口は増え続け、さらなる発展が続いている。

松崎議員 柏市は平成17年3月に沼南町と合併し、平成20年4月には県内2番目の中核市として市内の人口は増え続け、さらなる発展が続いている。

松崎議員 柏警察署における今後の警察力の強化に向けた方針はどうか。警察本部長 柏警察署については、管内の刑法犯認知件数、交通事故発生件数、110番受理件数が、県内最多であり、業務多忙な警察署であることから、引き続き、警察官の配置の見直し、移動交番車の機動的・効率的な運用のほか、機動捜査隊、交通機動隊、自動車警ら隊等の県本部執行隊による応援などにより、治安維持に万全を期してまいります。

柏市では令和3年8月に、新型コロナウイルスに感染した妊婦が受入先が決まらず、早産の末、新生児が死亡するという大変痛ましい事案が発生した。

松崎議員 柏市は平成17年3月に沼南町と合併し、平成20年4月には県内2番目の中核市として市内の人口は増え続け、さらなる発展が続いている。

松崎議員 柏警察署における今後の警察力の強化に向けた方針はどうか。警察本部長 柏警察署については、管内の刑法犯認知件数、交通事故発生件数、110番受理件数が、県内最多であり、業務多忙な警察署であることから、引き続き、警察官の配置の見直し、移動交番車の機動的・効率的な運用のほか、機動捜査隊、交通機動隊、自動車警ら隊等の県本部執行隊による応援などにより、治安維持に万全を期してまいります。

な入院調整ができるよう二斉照会システムを導入したと聞く。地域のかりつきの産科医と周産期母子医療センターが連携して、このシステムを活用し、ハイリスクな妊産婦の入院調整を行っており、それなりの実績をあげているとのことである。

松崎議員 柏市は平成17年3月に沼南町と合併し、平成20年4月には県内2番目の中核市として市内の人口は増え続け、さらなる発展が続いている。

松崎議員 柏警察署における今後の警察力の強化に向けた方針はどうか。警察本部長 柏警察署については、管内の刑法犯認知件数、交通事故発生件数、110番受理件数が、県内最多であり、業務多忙な警察署であることから、引き続き、警察官の配置の見直し、移動交番車の機動的・効率的な運用のほか、機動捜査隊、交通機動隊、自動車警ら隊等の県本部執行隊による応援などにより、治安維持に万全を期してまいります。

照会するシステムを導入しました。運用開始から本年5月までに、新型コロナウイルス感染者27名と、感染が疑われた198名の、合計225名の妊産婦に対して、本システムを用いた入院調整が行われたところです。本システム導入により搬送先が速やかに決まるなど、医療機関からも高く評価されています。松崎議員 一斉照会システムについて、今後どのように運用していくのか。保健医療担当部長 本シ

●県政や柏市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

松崎たかひろ 県事務所

〒277-0005 柏市柏3-7-21 椎名ビル407号 TEL. 04(7168)0966

高齢者の学びの場 生涯大学校を活かせ

松崎議員 高齢化の進展により、2025年には県民の約3人に1人が高齢者になることを見込まれており、超高齢社会を迎える中、地域の主役は高齢者と言っても過言ではない。

人生100年時代と言われる今、豊富な経験や知識、人間的な幅を持っている高齢者は、地域で活躍できるポテンシャルが十分にあり、それらを活かせる環境をつくることは、健康で活躍し続ける高齢者が増え、地域が元気になることにつながる。支えられる側としてのみではなく、支える側として、子ども達の見守りや支援の必要な高齢者を支えたり、



松崎議員から要望する

公園の活性化に 民間活力の導入

松崎議員 県立柏の葉公園は、計画面積45ヘクタールの都市公園であり、総合競技場や野球場等の各種スポーツ施設等を備え、誰もが利用できる遊び場憩いの場として、広域的なレクリエーションの空間となっている。週末は各種スポーツ大会やイベントなどで賑わうが、平日の利用者が少ないと、私としては感じているところであり、公園の現状や求められる役割、利用者ニーズ等を整理し、公園の活性化を図ることが必要ではないかと考える。

そのような中、都市公園法が改正され、都市公園の中に飲食施設など収益の上がる公園施設を民間業者により計画的に設置し、その収益の

ふるさとの文化を守って次世代に伝えることは、大変素晴らしいことであり、高齢者の活躍には大きな期待が寄せられる。

そうした中、生涯大学校では、高齢者が仲間づくりや生きがいづくりをしながら地域活動の担い手となるよう学べる場所であり、多

く卒業生が自治会やボランティア活動などに一生懸命取り組まれている。

令和6年度からは、地域の活性化につながるような学習の機会が求められる。そこで何う、生涯大学校においては、地域の活性化につなげる人材の育成に、より力を入れていくべきと考ええるかどうか。

知事 超高齢化社会にお

く、活力ある地域社会をつつていくためには、高齢者が役割と生きがいをもって、地域で活躍していくことが重要であると認識しています。

そこで、本年3月に策定した「第3次千葉県生涯大学校マスタープラン」では、令和6年度から学部を再編し、身近な地域の歴史・文化や観光、自然環境の保全について学ぶ「千葉ふるさとづくりコース」を新設するなど、地域の活性化に資する人材を育成することとしています。

一部を公園の環境整備や再生整備などに充てる、パークPFIという新たな制度が活用できるようになった。

県においては、このパークPFI等の制度を活用した民間活力導入による公園の魅力向上や利用者の利便の向上を目的として、令和3年度にマーケットサウンディング調査を実施した。

その調査の中で、民間事業者から、公園の市場性や活用のアイデアなどについて意見の聞き取りを行い、その結果などを踏まえて、昨年4月から事業公募を行ってきた。この民間活力の導入により、公園の魅力向上や活性化が期待されることろであり、その進捗状況と今後の予定が気になるかどうか。

そこで何う、民間活力の導入について、進捗状況はどうか。

都市整備局長 現在、事業者において、飲食施設や休憩施設等の設計を行って

飲酒運転根絶に向けた取組み

松崎議員 令和3年6月、八街市で飲酒運転のトラックにより、児童5人が死傷するという大変痛ましい事故の発生から、本年で2年になる。

八街市での痛ましい事故を受け、県警をはじめとする、関係機関・団体が、飲酒運転根絶に向けた各種取組を推進しているにも関わらず、連日のように飲酒運転による交通事故の記事を目にしており、「飲酒運転の根絶」に至っていない現状を、非常に残念に思う。

このような中、「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」について、新たに罰則規定などを盛り込んだ改正条例が6月28日に施行された。

改正条例を効果的に活用しながら、県民総ぐるみで環境づくりに取り組みで行かなければならない。

県警におおしては、本年の交通事故防止対策の柱に、飲酒運転の根絶を掲げ、年次から、広報啓発活動や交通安全教育を推進していただいているとともに、指導取締りも強化していただいている。

また、飲酒運転受刑者の手記とこれを題材とした動画を作成したものと承知している。

そこで何う、令和5年中における飲酒運転による交通事故の発生状況はどうか。

警察本部長 本年5月末現在の飲酒運転による交通事故は、53件発生し、昨年同時期と比較して、5件増加しております。

また、飲酒運転による死亡事故は、4件発生し、昨年同時期と比較して、1件減少しております。

松崎議員 飲酒運転根絶に向け、飲酒運転受刑者の手記やそれを題材とした動画をどのように活用しているのか。

警察本部長 県警では、令和5年の交通事故防止対策の柱の1つに、飲酒運転の根絶を掲げ、各種の取組を推進しているところです。

新たな広報啓発資料として、令和4年12月に市原刑務所の協力を得て、「飲酒運転受刑者の手記」と手記を題材とした動画を作成しております。

作成した手記は、運転免許センターにおける講習時や交通安全教室、警察署の窓口等で配布し、動画は、県警ホームページで公開しているほか、運転免許センター、指定自動車教習所、交通安全教室等で放映するなど、飲酒運転根絶気運の醸成に活用しているところです。

動画を見た県民や企業の方々から、これは本当に心に響く内容だった、職場研修等に活用したいなどの反響があり、飲酒運転根絶に対する意識の高から、引き続き、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」社会環境を作るために活用してまいります。

要望 飲酒して車を運転することのどのような事態を招くか、その先どのような悲劇が待っているか、地道に訴えていくことが大事だと思ふ。

これからも飲酒運転根絶に向け、広報啓発に努めていただきたいと思います。

い、活力ある地域社会をつつていくためには、高齢者が役割と生きがいをもって、地域で活躍していくことが重要であると認識しています。

そこで、本年3月に策定した「第3次千葉県生涯大学校マスタープラン」では、令和6年度から学部を再編し、身近な地域の歴史・文化や観光、自然環境の保全について学ぶ「千葉ふるさとづくりコース」を新設するなど、地域の活性化に資する人材を育成することとしています。

また、都市型スポーツ施設の導入については、先進事例や民間事業者からの提案等を参考にしながら、事業公募に向け、検討を進めているところだ。

引き続き、民間が持つノウハウ等を有効に活用し、地域の活性化につながる「魅力あふれる公園」となるよう、地元市とも連携しながら、積極的に取り組んでまいります。

要望 柏の葉公園への民間活力の導入にあたっては、柏市ともしっかりと連携して進めていただき、さらなる公園の魅力向上として、より多くの人を呼び込んで頂き、新たな賑わいを創出して頂くよう要望する。

今後、高齢者が生涯大学校で学んだ知識や経験、技能などを活かしながら、地域社会で活躍できるよう、魅力ある学びの場を提供してまいります。

要望 以前、コロナ禍